

青森県農業農村整備中期推進方針概要版（計画期間 2024～2028）

1 計画の位置づけ

「青森新時代『農林水産力』強化パッケージ」のうち、農業農村整備分野のプロジェクト・継続的な取組を3つの柱に整理し、さらに柱ごとに展開方向や目標を明らかにして、具体的な取組内容を示したもの

2 農業・農村を取り巻く情勢の変化

- 人口減少・高齢化の進行
- ・人口減少や高齢化に伴う農村集落機能の低下
- デジタル社会の実現
- ・農業DXの推進
- 防災・減災、国土強靱化の推進
- ・頻発化・激甚化する自然災害
- 多様な人財の活用による農村の機能の確保
- 食料安全保障の強化
- ・気候変動等による世界的な食料生産の不安定化
- ・燃油・飼料等の生産資材の価格高騰

3 農業・農村に関わる国の施策

- 土地改良長期計画
- 食料・農業・農村基本計画

4 計画期間

2024年度～2028年度

基本方針と施策の展開方向

「**農業・農村の持続的な発展を支える 農業農村整備**」を目指し、「**生産力強化**」「**防災力強化**」「**地域力強化**」の3つの柱に沿って、9つの展開方向を設定し、取組を推進

1 「生産力強化～担い手の規模拡大と所得向上を支える基盤づくり～」

展開方向1 担い手の規模拡大と所得向上を支える 基盤整備の推進

- スマート農業の実装を可能とする基盤整備の推進
- 基盤整備を契機とした担い手への農地集積・集約化の加速化

【成果指標】

- ・水田整備面積 5か年で1,000ha増
(参考)R5:53,966ha → R10:54,966ha
- ・スマート農業の実装を可能とする基盤整備を行う面積 5か年で800ha増
- ・担い手への農地集積率 R5:73.0% → R10:80.0%



展開方向2 収益性の高い農業経営を支える基盤整備の推進

- 高収益作物などへの転換を推進する水田の汎用化・畑地化
- 高品質・安定生産を支える農地の高機能化

【成果指標】

- ・暗渠排水整備面積 5か年で700ha増



展開方向3 農業農村整備のDXの推進

- 農業農村整備プロセス全体でのICTの活用

【成果指標】

- ・ICT活用施工の実施率 R5:2% → R10:10%



3 「地域力強化～多様な主体が活躍できる農村づくり～」

展開方向6 農村の有する多面的機能の維持・発揮

- 多面的機能の維持・発揮に向けた地域の共同活動や 営農活動を推進
- 地域の共同活動の継続に向けた持続可能な組織体制づくり

【成果指標】

- ・多面的機能支払交付金の取組面積 R5:44,204ha → R10:44,204ha
- ・中山間地域等直接支払交付金の取組面積 R5:8,780ha → R10:8,780ha



展開方向8 多様な主体の協働による農村環境の 保全・再生の推進

- 多様な主体の協働による農村環境の保全・再生の推進

2 「防災力強化～安全・安心な暮らしを守る農業・農村づくり～」

展開方向4 農業水利施設の長寿命化対策の推進

- 農業水利施設の機能の維持・発揮に向けて機能保全計画に基づく適期の更新整備を推進
- 施設更新に併せて省エネルギー化や対策後の維持管理の効率化を推進

【成果指標】

- ・機能保全計画に基づく保全対策工事に着手した施設数 R5:51施設 → R10:71施設



展開方向5 農村地域の防災・減災対策の推進

- 防災重点農業用ため池の地震・豪雨対策の実施

【成果指標】

- ・防災重点農業用ため池の対策工事に着手する地区数 R5:21地区 → R10:37地区



- 農地や農業水利施設を活用した流域治水の取組推進

【成果指標】

- ・田んぼダムの取組面積 R5:168ha → R10:500ha

展開方向7 土地改良区の運営基盤の強化

- 施設管理の主体を担う土地改良区の統合整備や男女共同参画の推進による組織の運営基盤の強化

【成果指標】

- ・土地改良区数 R5:69改良区 → R10:66改良区

展開方向9 地域の特色を活かした農村の振興

- 老朽化した農業集落排水施設の集約・再編や農道の保全対策の推進
- 農業生産基盤と併せ農村生活環境を総合的に整備

【成果指標】

- ・農道保全対策に着手した地区数 R5:18地区 → R10:29地区

